



222号 発行所/ 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者/ 病院長 林 弘人 印刷/(株)アートネクスト

関門医療センター



海峡

これまで山口大学医学部を卒業後、脳神経内科医として主に山口大学附属病院で勤務して参りました。また、下関には非常勤医師として、長府病院、山口県済生会下関総合病院、下関医療センターで勤務をさせて頂いたことがあります。

当センターに赴任しまして、院長先生、脳神経内科 医長 田中 信一郎先生をはじめとして、多くの職員の皆様には暖かく迎えて頂きました。皆様には不慣れな点などで多々ご迷惑をおかけしておりますが、引き続き何卒ご指導をどうぞ宜しくお願い申し上げます。下関地域医療の担い手として、微力ながら尽力して参ります。



脳神経内科医師 おもと まさとし 尾本 雅俊

脳神経内科の治療

なかなか収まる光の見えないコロナ禍の中、私たちがコロナに翻弄されている中で新しい機序を持つ神経疾患治療薬がいくつか発売になっています。世の中はコロナの中でも進歩を続けていますので、その一つを紹介いたします。

この4月に日本に、約830万人いるとされる片頭痛持ちの方々にとって期待の持てそうな片頭痛予防薬が発売されました。薬理学的な名称は「ヒト化抗CGRPモノクローナル抗体製剤」で、月に1回皮下投与する注射薬です。CGRP(カルシトニン遺伝子関連ペプチド)という物質は頭の硬膜や三叉神経にあり、片頭痛発作時の血管拡張や炎症反応の直接原因であることがわかっています。この薬はCGRPの働きをブロックすることで発作を減らし、また、発作を軽いものにします。臨床試験

点としては、保険診療で自己負担額が1万円以上になる可能性があることです。また、最適使用推進ガイドライン(厚生労働省作成)を遵守する必要があります。片頭痛が過去3カ月の間で平均して1カ月に4日以上あり、従来の片頭痛予防薬の効果が不十分または内服の継続が困難な場合などに限られます。18歳未満は使用不可です。

医療従事者にとっても大変有用で勉強になる「頭痛大学」というインターネットサイトを運営されている間中信也先生(日本頭痛協会名誉代表理事)は、次のように記されています。「医聖と呼ばれるウィリアム・オスラー(1849-1919)は、「頭痛を治療する能力は、医師の力量を測るのに最も良い。」と述べています。人間に興味を持ち、きちんと必要な情報を聞き出し、最適なコントロール法を見つめる支援をする、これが頭痛診療の極意ではないでしょうか。」



ウィリアム・オスラー (1849-1919)

片頭痛予防の新薬について

外来診療担当医一覧表

2021年6月1日

Table with columns for Group Name, Clinic Name, Day, and Doctor Name. Includes various departments like General, Neurology, and Surgery.

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 診療受付時間: 午前8:30~11:30 午後(各診療科外来にお問い合わせください) ※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)



当センターでは今年度、26名の新人看護師を迎えました。新人看護師たちは、コロナ禍で十分な臨床実習が経験できず、大きな不安を抱えての入職となりましたが、先輩の指導を受けながら「患者さんのために！」と努力しています。実習経験が少なかったことから、今年度は技術研修に加えてローテーション研修を試みました。急性期病棟、地域包括支援病棟、救命救急センター、手術室、内視鏡センターなどを半日ずつローテーションし、実習で経験することができなかった領域

新人看護師の眼学を行い、先輩看護師と一緒に患者さんへ関わらせていただき、貴重な経験をすることができました。リハビリや地域連携室の見学も行った。退院支援やチーム医療について学ぶことができました。また、毎年行っているインフォメーション研修では、看護専門職として必要な基本姿勢と態度、基本的マナーを身につけることを目的に研修を行いました。外来患者さんへの対応をさせていただく中で、患者さんから「ありがとう、頑張ってる」と多くの声をかけていただき、緊張でいっぱいだった新人たちにも笑顔がみられました。患者さんから学ばせていただくことが多く、患者さんとの良い関わりがやりにがいに繋がっていると思っています。

これからの新人看護師たちがチームの一員として活躍できるように、学習できる環境を整え、看護部全体で支えていきたいと考えています。そして多くのことに気づき、考え、行動できる感性豊かな看護師に育ってほしいと願っています。

新人看護師たち、頑張っています！



教育担当看護師長 岡 美樹

チーム内で声をかけ合う大切さを学びました。

患者さんが退院後、どのような生活したいのか把握して患者さんと関わることが大切だとわかりました。

「患者さんのためにできることを全力でやる!」という先輩の言葉に感銘を受けました。自分も精いっぱい頑張りたいです。



【新人看護師の声】

関門医療センター 看護師特定行為研修 開校式

特定行為看護師研修がはじまりました!!

2021年2月22日に特定行為に係る指定研修期間の承認を受け、2021年4月、関門医療センターで、「外科基本領域」および「救急領域」の2つのパッケージの、特定行為看護師研修を開講しました。2名の受講生を迎え、院長、副院長、研修部長、他の幹事の皆様に見守られながら、2021年4月16日に開講式が行われました。

特定行為看護師は、高度な専門知識や技術を持って診療の補助を行うことができ、特定行為は15区分38行為あります。『外科基本領域』パッケージでは、褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去を含む7区分7行為の特定行為が取得でき、『救急領域』パッケージでは、侵襲的陽圧換気の設定変更などの呼吸器関連を含む、5区分9行為の特定行為の修得ができます。これから約1年間を通して、

共通科目250時間、区分別科目をおよそ90時間、eラーニングと演習・実習を繰り返し履修します。

特定行為看護師研修では、これまでに培ってきた臨床知に加え、薬理学や医学的知識を深めるとともに、医療安全やコミュニケーションスキルを学ぶ事で多職種が連携し、患者さんにより良い治療、ケアを安全果たすことを目指します。



救急看護 特定認定看護師 高橋 隼子



【外科基本領域】 皮膚・排泄ケア 認定看護師 宮城 陽水

研修生紹介

周術期における患者さんの辛い症状や苦痛に対して寄り添い、その苦痛・苦悩の緩和に寄与できるように、本研修にて外科領域に関する専門的な知識や技術を身につけていきたいと思っています。



【救急領域】 救急看護 認定看護師 福本 知子

突然のけがや病気で来院された患者さんに対して、救命救急処置やこころのケアが必要な『救急領域』で少しでも早く患者さんの苦痛が緩和できるように、特定行為研修で今までの認定看護師としての臨床経験をもとに、専門的な知識・技術を深めていきたいと思っています。